



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9709 URL http://ncsa.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木 謙吾  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員専務 (氏名) 山口 満之 (TEL) (06) 6946-1991  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,896	△1.5	△233	—	△215	—	△315	—
29年3月期第2四半期	9,029	△0.1	37	—	118	—	110	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △290百万円(—%) 29年3月期第2四半期 121百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△17.08	—
29年3月期第2四半期	5.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,494	9,352	60.4
29年3月期	16,305	9,884	60.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,352百万円 29年3月期 9,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
30年3月期	—	0.00			
30年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	2.2	200	71.9	250	△12.4	160	△41.5	8.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年11月1日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	20,000,000株	29年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,596,171株	29年3月期	1,348,643株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	18,467,979株	29年3月期2Q	20,490,400株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、景気は引き続き緩やかな回復基調にある一方で、中国を始めとするアジア新興国経済の減速懸念等、景気の先行きについては不透明な要素が見られました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、国内景況感の改善にともないIT投資は堅調に推移しており、特に、AI、IoT、ビッグデータ等の新たな技術による生産性向上、需要創出、社会的課題の解決等の取り組みは実用段階に入りつつあり、その利活用は今後も拡大していくものと予想されております。

このような環境のもと、当社グループは、さらなる収益性向上を目指し、ホテル業向け予約システム「i-honex（アイホネックス）」、システムの可視化ソリューション「REVERSE PLANET（リバースプラネット）」、金融業向け個人信用情報接続ソリューション「Ccms（シー・シー・エム・エス）」等の自社製品の機能強化と販売拡大に取り組んでまいりました。また、システム共通基盤（エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート社の「intra-mart（イントラマート）」）による効率的なシステム開発の拡大を図るとともに、中小・中堅製造業向け生産管理システムや流通業向け販売管理システムの導入拡大、IBM i（System i、iSeries、AS/400）ユーザー向けの新たなアウトソーシングビジネスに向けた取り組みを進め、受注状況は計画を上回るものとなっております。

新たな分野であるAIについては、「IBM Watson Explorer」による業務イノベーション支援サービスの取り組みを開始しており、既存顧客へのサービス提供及び自社製品への組み込みを含めた検討を進めております。

また、『働き方改革』の推進に向け、昨年度まで取り組んできた「時間外労働の縮減」「有給休暇の取得促進」に一定の成果が出てきたことから、一歩進めて、勤務形態の多様化対応や付加価値創造に向けた生産性向上へ取り組みを開始しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は88億96百万円（前年同四半期は売上高90億29百万円）となりました。利益面につきましては、納期遅延による一部の不採算プロジェクトの影響が大きく、営業損失は2億33百万円（前年同四半期は営業利益37百万円）となりました。また、経常損失は2億15百万円（前年同四半期は経常利益1億18百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億15百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億10百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は154億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億11百万円減少いたしました。流動資産は120億2百万円となり、10億4百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(10億50百万円)等であります。固定資産は34億92百万円となり、1億93百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の増加(25百万円)、無形固定資産の増加(1億19百万円)、投資有価証券の増加(51百万円)等であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は61億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億79百万円減少いたしました。流動負債は28億1百万円となり、2億76百万円減少いたしました。主な要因は、未払金の減少(1億51百万円)、その他に含まれる未払費用の減少(1億14百万円)等であります。固定負債は33億40百万円となり、2百万円減少いたしました。主な要因は、リース債務の増加(28百万円)、退職給付に係る負債の増加(32百万円)、長期借入金の減少(33百万円)、長期未払金の減少(30百万円)等であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は93億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億31百万円減少いたしました。主な要因は、第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(3億15百万円)、配当金の支払による利益剰余金の減少(1億49百万円)等であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.6%から60.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました平成30年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成29年11月1日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,312,639	7,462,154
受取手形及び売掛金	4,543,639	3,493,607
有価証券	2,651	21,028
商品及び製品	218,370	235,837
仕掛品	377,313	382,755
繰延税金資産	297,413	193,144
その他	255,436	214,263
貸倒引当金	△311	△169
流動資産合計	13,007,152	12,002,621
固定資産		
有形固定資産	293,809	319,343
無形固定資産	513,069	632,416
投資その他の資産		
投資有価証券	1,051,092	1,102,928
繰延税金資産	916,463	905,024
差入保証金	243,937	239,969
その他	350,649	362,802
貸倒引当金	△70,291	△70,291
投資その他の資産合計	2,491,852	2,540,434
固定資産合計	3,298,731	3,492,193
資産合計	16,305,884	15,494,814

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,004	511,345
1年内返済予定の長期借入金	128,336	84,412
リース債務	67,318	72,138
未払金	1,244,137	1,093,129
未払法人税等	147,076	85,621
繰延税金負債	315	—
賞与引当金	407,027	395,038
役員賞与引当金	10,450	—
受注損失引当金	51,283	99,034
その他	543,024	460,376
流動負債合計	3,077,974	2,801,097
固定負債		
長期借入金	83,392	50,074
リース債務	106,116	134,513
退職給付に係る負債	3,101,609	3,134,219
長期未払金	51,970	21,970
固定負債合計	3,343,088	3,340,777
負債合計	6,421,062	6,141,874
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	5,799,356	5,799,651
利益剰余金	707,439	242,821
自己株式	△352,436	△444,891
株主資本合計	9,929,460	9,372,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,095	142,684
為替換算調整勘定	44,919	8,763
退職給付に係る調整累計額	△182,653	△171,188
その他の包括利益累計額合計	△44,638	△19,741
純資産合計	9,884,821	9,352,940
負債純資産合計	16,305,884	15,494,814

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,029,005	8,896,038
売上原価	6,962,866	7,008,894
売上総利益	2,066,138	1,887,144
販売費及び一般管理費	2,028,187	2,120,861
営業利益又は営業損失(△)	37,951	△233,717
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,783	11,440
有価証券評価益	47,300	—
保険解約返戻金	19,662	—
その他	8,894	8,607
営業外収益合計	85,639	20,048
営業外費用		
支払利息	5,406	1,325
その他	85	103
営業外費用合計	5,491	1,428
経常利益又は経常損失(△)	118,099	△215,097
特別利益		
関係会社清算益	—	34,418
特別利益合計	—	34,418
特別損失		
訴訟関連損失	—	32,200
特別損失合計	—	32,200
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	118,099	△212,879
法人税、住民税及び事業税	11,433	13,550
法人税等調整額	△3,940	88,977
法人税等合計	7,493	102,528
四半期純利益又は四半期純損失(△)	110,605	△315,407
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	110,605	△315,407



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	110,605	△315,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,086	49,589
為替換算調整勘定	△8,458	△36,156
退職給付に係る調整額	12,135	11,464
その他の包括利益合計	10,763	24,897
四半期包括利益	121,369	△290,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,369	△290,509
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。